

団地と多文化共生～芝園団地の事例から～ 視聴者からの質問

	質問	回答
1	入居時のオリエンテーションの重要性の話がありましたが、トラブルの際の申し入れなど、互いのコミュニケーションが重要だと感じます。その責任主体として、市町村、大家さん(UR)、管理組合、お隣さんなどがありえますが、役割分担のアドバイスをいただけませんか？	場所ごとに事情が違うので一概には言えませんが、やはり大家（芝園団地の場合はUR）が主体的な役割を果たすのが原則かと思います。ただ外国人住民とのコミュニケーションや定住支援について必ずしもノウハウがない場合もあると思うので、外部のNGOや管理組合、自治会、地元自治体などが連携して対応するのが望ましいと思います。
2	日本人の私たちの団地という考え方（特権意識）ではすでに成り立たない状態であることはわかります。しかし日本全体の未来の姿として見た場合、日本の文化そのものを変えていくことが望ましい方向なのでしょうか。日本人自身が変わっていくことと、外国人が増えることによって平均値が変わることには違いがあるように思いますが、同じこととお考えですか？「日本人である私たち」という特権意識と、「実際に動かしているのは私たち中国人なのに」という意識のぶつかり合いはあるのでしょうか。	たとえば芝園団地の祭りは、いまは中国やバングラデシュの住民も出店をしています。その意味では昔とは変わったのですが、日本の祭りという文化そのものが失われたわけではありません。時代の変化に対応しつつ日本の文化を守り、尊重していくということは十分に可能だと思います。
3	コロナ禍で感じた、あってよかった・困った風習・慣習？は何かありますか？	コロナ禍が深刻になった昨年3月以降は住んでいないのでわかりませんが、マスクを着けるといった習慣は日本人も中国人も同じなので、その意味では文化の違いがあまり問題になったことはなかったかと思います。
4	外国人住民の方が自治会や住民活動に参加しない・参加しにくいのは何故でしょう。日本人が外国の方を快く受け入れるようになるのは非常に大事だと思うのですが、逆に外国人側の視点でも解決すべき点があれば教えていただきたいです。	外国人住民の側からすれば①自治会の存在自体を知らない②自国に同様の仕組みがないので、なぜお金を払ってまで参加すべきなのか、理解しにくい③賃貸住宅で数年間で引っ越し場合、コミュニティの一員という意識を持ちにくい、といったことが挙げられると思います。一方、外国人住民が自治会に加入してくれないという話はほかの地域でも聞きますが、そもそも自治会を運営する側が、外国人に対して本当の意味で門戸を開いているかどうかという課題もあると思います。
5	自治会の運営に、中国の方はどれくらい入っているのでしょうか。運営の課題はありそうでしょうか。	(時間内にお答えいただいた質問)
6	東京大学大学院の宋弘揚です。お話ありがとうございます。お聞きしたいのは、芝園団地に住んでいる中国人の子どもは地元の公立学校に通っていますか？それとも都内などの私立学校に受験しますか？お分りの範囲でいいのでぜひご教示いただけますと幸いです。	(時間内にお答えいただいた質問)